

受賞者のその後の取組（平成 29 年現在）

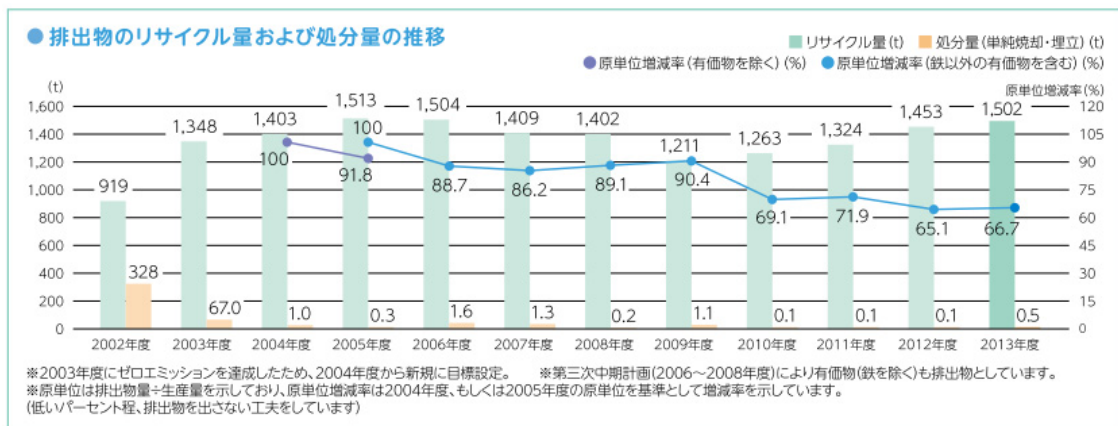
平成22年度 経済産業大臣賞 受賞	受賞者名
	日東工業株式会社 東北日東工業株式会社
	所在地
	愛知県愛知郡長久手町
受賞テーマ	全社員一丸となって環境方針「アースクリーン210」に向けた環境活動

- 活動継続 あり
 - ・ 廃電着塗料の削減
 - ・ エコ製品開発の推進
- 活動の広がり あり
エコ製品開発において、対象商品の拡大
- 活動の進化 あり
製品開発段階での小型軽量化の推進

<p>クラウド向 オープンラック FCP</p>  <p>Green Fit</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 部品点数 49%削減 	<p>光接続箱 SPU-Lタイプ</p>  <p>Green Fit</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 体積 37%小型化 ■ 質量 43%軽量化 ■ 部品点数 23%削減 	<p>可変式温度センサ PHV-E90C</p>  <p>Green Fit</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 体積 30%小型化 ■ 質量 22%軽量化 ■ 長寿命化
<p>太陽光発電システム用 直流開閉器 DC1000V対応 NT32D10H</p>  <p>Green Fit</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 体積 50%小型化 ■ 質量 52%軽量化 ■ 部品点数 50%削減 	<p>PVユニット PVU-A1</p>  <p>Green Fit</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 体積 95%小型化 ■ 質量 33%軽量化 ■ 寿命 50%向上 	<p>屋外用熱対策通信キャビネット RCP(電子クーラタイプ)</p>  <p>Green Fit</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ エネルギー消費 効率(COP) 2.6倍向上 ■ 解体時間 28%短縮

製品の小型化・軽量化、省資源、リサイクル可能率の向上、環境汚染物質の撤廃などをテーマに、当社の環境基準を達成した製品を「グリーンフィット」に認定。

- 今後の計画
廃棄物の有価物化推進



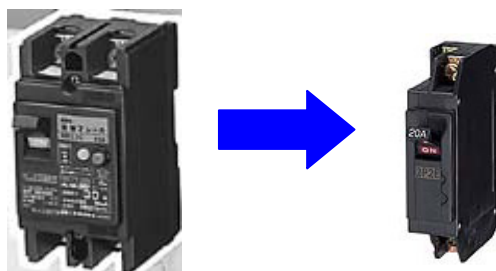
- その他
特になし

【表彰概要】

同社では、関連会社も含めた各工場・各部門で以下のような3R活動を行っている。

<リデュース>

開発部門では省資源・省エネ・長寿命型製品の開発に取り組み、同社の環境基準を達成した製品を「日東工業エコ認定製品」に認定している。購買部門では部品梱包材の通い箱化、業者返却を進めると同時に、同社製品の梱包材についても削減に努めている。また、生産部門では不良削減という本来業務の中での廃棄物削減で成果を挙げている。



(従来製品) (現在の製品)
省資源型製品の開発例 (ブレーカーのスリム化)

<リユース>

日東スタッフ㈱では、回収したキャンセル品の部品（ブレーカー等）を再利用している。また不要となった木板を再度、品質チェックし再利用している。東北日東工業㈱では、一定の長さがある廃電線は再度利用している。



キャンセル品のリユース



廃電線の再利用

<リサイクル>

生産部門と施設部門では、2004年3月にゼロエミッションを達成。現在「儲かるゼロエミ」をテーマに、さらなる分別の徹底により有価物化を進めている。また、磐田工場における廃プラのリサイクル（クリアケース・ファイルの製作）、や本社・名古屋工場における食堂残飯を肥料化等、各事業所が独自のリサイクル活動を行っている。